

# 今後のまちづくりの提案や広聴のあり方の検討について

令和元年12月5日

中之島支所地域振興課

## 1 主旨

### [主旨]

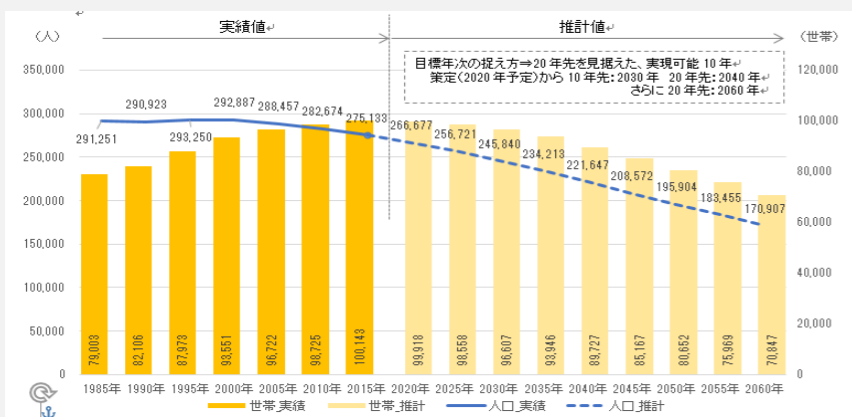
地域の代表機関として活躍してきた地域委員会のこれまでの活動を振り返るとともに、地域の現状と課題を総合的な視点から照らし合わせながら、今後の地域づくりに相応しいまちづくりの提案や広聴機能の形について、幅広く議論していただきたい。

### [背景]

- 合併後、支所地域におけるまちづくりの検討や広聴の代表機関として、地域委員会を設置
- 15年にわたり、地域における振興策や生活課題への対応などを議論。ふるさと創生基金事業や地域の宝磨き上げをはじめ、少子化を背景とする小学校や保育園の統合、交通対策、コミセンの開設、新たな活動の誘発など、様々な成果を創出してきた。
- 一方、いずれの地域においても人口減少、高齢化は着実に進んでおり、地域の担い手不足はいずれの地域においても懸念されている。
- そのようななか、地域には区長会や総代会、コミセン協議会など住民代表が集う様々な組織が存在し、広聴機能の効率化を求める意見も散見されるようになってきた。
- また、若い世代の多様な活動が芽生えている地域もあるなかで、次代を担う若者の意見を積極的にまちづくりに活かすことが、地域の活力維持につながるといった意見も聞かれる。

## 2 中之島地域の現状と課題

### (1) 全市人口及び世帯数の推移と将来見通し



※中之島地域の震災前後の比較

	人口(人)	高齢化率(%)
H16.4.1 (震災前)	12,826	21.5
H31.4.1 (震災後)	11,432	31.3
増減	▲1,394	9.8

### (2) 地域の主な課題

- ・高齢により、自らの運転をしなくなる方の移動手段の確保。
- ・若い人たちの意見を聞いたりするための集まる機会や場をつくる。

### (3) 広聴組織、団体の状況等

- ・中之島地域連合町内会連絡協議会において、住民からの要望や意見を聞き取りしている。
- ・若い年代の人たちが「ふるさと創生基金事業実行委員」として事業の企画運営を行い、他の中之島地域在住の若い人たちからワークショップを通じて意見を聞き取っている。

## 3 中之島地域委員会が果たしてきたまちづくりへの提案・広聴機能

### [まちづくりの提案]

- ・7.13水害からの復旧復興や刈谷田川の改修により創出された土地の利活用に係る検討を実施。
- ・災害時における緊急情報の収集、伝達につながる情報発信としてケーブルテレビエリアの早期拡大について市へ要望書を提出し、実現された。
- ・地域委員会分科会が中心となって若者の集まる機会と場所をつくる企画を運営。参加した若い方の一部が、ふるさと創生基金事業実行委員のメンバーになって自ら若者向けイベントを企画運営。
- ・公共交通の空白地において、デマンドタクシーを用いた公共交通実証運行を実施。

### [広聴機能]

- ・地域委員会で中之島地域分の市予算や事業などについて説明を行い、有意な意見をいただいた。
- ・公共交通実証運行の実施後、住民アンケートの用紙の配付などを通じて意見の聞き取りを実施。

## 4 今後の検討テーマ(案)

次のテーマについて幅広く御意見をいただきたい。

- まちづくりに関する地域住民の意見・提案をお聞きする「広聴の仕組み」として相応しい形は
- 多様な地域課題に対し、実のある検討を柔軟に行う「検討の仕組み」として相応しい形は

## 1 主旨

### [主旨]

地域の代表機関として活躍してきた地域委員会のこれまでの活動を振り返るとともに、地域の現状と課題を総合的な視点から照らし合わせながら、今後の地域づくりに相応しいまちづくりの提案や広聴機能の形について、幅広く議論していただきたい。

### [背景]

○合併後、支所地域におけるまちづくりの検討や広聴の代表機関として、地域委員会を設置

○15年にわたり、地域における振興策や生活課題への対応などを議論。ふるさと創生基金事業や地域の宝磨き上げをはじめ、少子化を背景とする小学校や保育園の統合、交通対策、コミセンの開設、新たな活動の誘発など、様々な成果を創出してきた。

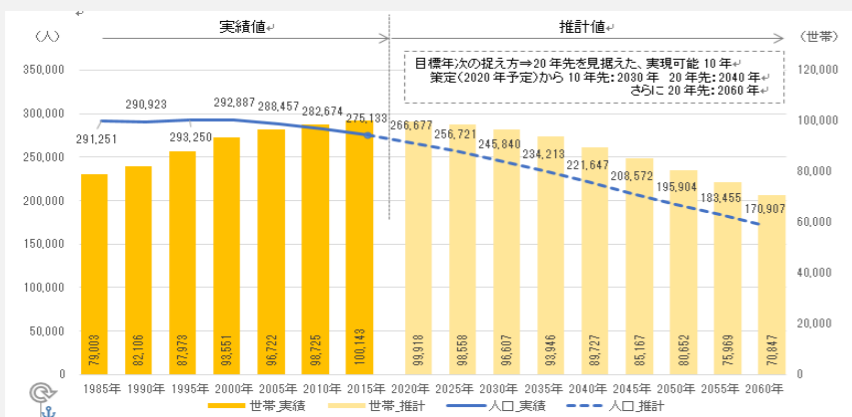
○一方、いずれの地域においても人口減少、高齢化は着実に進んでおり、地域の担い手不足はいずれの地域においても懸念されている。

○そのようななか、地域には区長会や総代会、コミセン協議会など住民代表が集う様々な組織が存在し、広聴機能の効率化を求める意見も散見されるようになってきた。

○また、若い世代の多様な活動が芽生えている地域もあるなかで、次代を担う若者の意見を積極的にまちづくりに活かすことが、地域の活力維持につながるといった意見も聞かれる。

## 2 〇〇地域の現状と課題

### (1) 全市人口及び世帯数の推移と将来見通し



### ※〇〇地域の震災前後の比較

	人口 (人)	高齢化率 (%)
H16.4.1 (震災前)	2,184	37
H31.4.1 (震災後)	963	52
増減	▲ 1,221	15.3
増減比率	-55.9%	41.4%

### (2) 地域の主な課題 (3つ程度)

- ・高齢者世帯の除雪支援が必要である。
- ・公共交通の減少により、利便性が低下している。

### (3) 広聴組織、団体の状況等 (3つ程度)

- ・区長会で住民の意見や要望を集約している。
- ・コミセンでまちづくりに関する話し合いを行っている。
- ・若い世代を中心とした団体(〇〇)が立ち上がり、△△に関する活動を行っている。

## 3 〇〇地域委員会が果たしてきたまちづくりへの提案・広聴機能

まちづくりへの提案や広聴機能において、地域委員会が果たしてきた役割や成果を記入してください。(各3つ以内)

### [まちづくりの提案]

・地域の課題となっていた子育てについて、地域委員会で住民の意見を聴きながら対応策をまとめ、市に提案書を提出したことにより、保育園の統合が実現した。

・若者の居場所づくりについて地域委員会で議論し、〇〇を対象としたイベントを実施することで、若者を中心とする地域活動団体が立ち上がった。

### [広聴機能]

・地域委員会で市の予算や事業、防災などの説明をした際に、市の施策の参考となる貴重な意見が得られた。

・地域の課題であった〇〇のデータを入手するため、地域委員会で住民のアンケート調査を行った。

## 4 今後の検討テーマ(案)

次のテーマについて幅広く御意見をいただきたい。

○まちづくりに関する地域住民の意見・提案をお聞きする「広聴の仕組み」として  
相応しい形は

○多様な地域課題に対し、実のある検討を柔軟に行う「検討の仕組み」として  
相応しい形は

## 地域別の人口・高齢化率(震災前・後)

(中之島)

	人口 (人)	高齢化率 (%)
H16.4.1 (震災前)	12,826	21.5
H31.4.1 (震災後)	11,432	31.3
増減	▲ 1,394	9.8

(越路)

	人口 (人)	高齢化率 (%)
H16.4.1 (震災前)	14,506	24.7
H31.4.1 (震災後)	13,608	32.1
増減	▲ 898	7.4

(三島)

	人口 (人)	高齢化率 (%)
H16.4.1 (震災前)	7,442	25.1
H31.4.1 (震災後)	6,733	32.3
増減	▲ 709	7.2

(山古志)

	人口 (人)	高齢化率 (%)
H16.4.1 (震災前)	2,184	37.0
H31.4.1 (震災後)	963	52.3
増減	▲ 1,221	15.3

(小国)

	人口 (人)	高齢化率 (%)
H16.4.1 (震災前)	7,141	34.3
H31.4.1 (震災後)	5,135	44.6
増減	▲ 2,006	10.3

(和島)

	人口 (人)	高齢化率 (%)
H16.4.1 (震災前)	5,090	26.7
H31.4.1 (震災後)	3,970	38.2
増減	▲ 1,120	11.5

(寺泊)

	人口 (人)	高齢化率 (%)
H16.4.1 (震災前)	11,864	27.8
H31.4.1 (震災後)	9,286	37.6
増減	▲ 2,578	9.8

(柝尾)

	人口 (人)	高齢化率 (%)
H16.4.1 (震災前)	24,393	29.4
H31.4.1 (震災後)	17,723	41.5
増減	▲ 6,670	12.1

(与板)

	人口 (人)	高齢化率 (%)
H16.4.1 (震災前)	7,158	23.4
H31.4.1 (震災後)	6,311	34.3
増減	▲ 847	10.9

(川口)

	人口 (人)	高齢化率 (%)
H16.4.1 (震災前)	5,697	27.1
H31.4.1 (震災後)	4,340	38.1
増減	▲ 1,357	11.0

(長岡)

	人口 (人)	高齢化率 (%)
H16.4.1 (震災前)	191,481	20.2
H31.4.1 (震災後)	190,419	28.1
増減	▲ 1,062	7.9